

ずいそう

「晴耕雨読弾」と「雪山」



長 沢 敏 一

伊藤忠建機(株) エンジニアリング事業部で主に「ビルマン」「POTAIN」ブランドの定置式タワークレーンを取り扱う建築機械部の長沢です。

ソフトな内容の寄稿というご依頼ですので、私の「休日の過ごし方」を紹介させていただきます。

バラ科の樹木「河津桜」が満開になる頃、我が家のバラ達も芽を吹きはじめ、4月初め～11月末までは自宅での「ガーデニング」です。シーズン中は早朝からバラや芝、季節の草花への水やり・花がら摘み・植え替え・手入れ仕事などを楽しんでいます。

雨が降れば読書ですが、BOOK OFF 創業当時のヘビィ・ユーザーで、まとめ買いをしておきます。

阿川弘之、浅田次郎、司馬遼太郎、山崎豊子、なかにし礼、半藤一利 etc. といった好きな作家の著書は全て読む的なスタイルです。最近では百田尚樹もお気に入り、「海賊と呼ばれた男」は久方ぶりに涙腺全開で一気に読了しました。

「弾」は齢50を過ぎて始めた「ピアノ」です。なかなか上達しませんが、人間出来ないことが少しずつでも出来るようになるのは楽しいもので、ピアノ音源の共鳴も心地良く安らぎます。

欧州出張で空港やターミナル駅に置いてある「誰でも弾けるピアノ」を見かけるたびに「いつか弾いてみたい」と密かに思っています。



写真一 株北川鉄工所製 JCL1000NK (最大 34.2t 吊り)



写真三 魅惑の芳香・銘花アイスバーグの花摘み



写真二 Manitowoc POTAIN 製 Igo T-70A (1.3t-40m)



写真四 年に1度、ベーゼンドルファーに向かう緊張の発表会



写真—5 日本最古の草レース「第70回八方リーゼン大会」

11月末迄にバラの冬剪定を終え、花壇を冬の草花へ植え替えると12月初め～3月末までは「スキー三昧」です。スキー連盟の各種ライセンス維持のため研修会に参加したり、行事や競技会に参戦するのが中心ですが、新雪が積もれば「パウダー・ジャンキー」として朝一始発のリフトから深雪に飛び込んで行くのが至福の時です。

映画も好きで月に何本か観ますが、最近では東京に住んでいることのメリットとして舞台やコンサート等「一期一会」のパフォーマンスを見逃さないようにしています。

先日観たアカデミー作品賞に輝いた「グリーン・ブック」は実話をもとにしたストーリーも良かったですが、



写真—6 仲間と共に各大会にも参戦しています

粗野な白人運転手トニーが旅先毎で妻宛てに書く手紙を黒人インテリ天才ピアニスト Dr. シャーリーが口述してあげる「韻を踏んだ名文」がとても印象深かったです。

「アリー／スター誕生」も良かった。レディー・ガガのスピン体当たり演技もさることながら、全編に流れるC&W調のポップ・ロックは全曲彼女が映画の為に書き下ろしたとのこと、まさに天才ですね。

秋にはミュージカル「ビッグ・フィッシュ」が再演されますので、今から楽しみです。

—ながさわ としかず 伊藤忠建機(株) 建築機械部長—